

一般社団法人日本補体学会

第 52 回日本補体学会学術集会・総会議事録

日時：平成 27 年 8 月 22 日（土）13：15～13：40

場所：名古屋大学医学部附属病院 中央診療棟 3 階 会議室

出席者

| | |
|------|-----|
| 正会員 | 55名 |
| 学生会員 | 14名 |
| 非会員 | 57名 |
| 委任状 | 44名 |

議事内容

1) 第 52 回日本補体学会学術集会 開催状況報告

水野集会長より報告があった。参加者は（8 月 21 日時点で）合計 112 名
一般会員：55 名、非会員：57 名（学生会員 14 名含む）

8 月 22 日の参会者 25 名加わり総計 137 名の参加であった。

演題については、一般演題が 30 題、シンポジウム 4 題、特別講演 3 題の
合計 37 題で進行ができた。

2) 第 52 回学術集会優秀賞選考結果について

2 名の応募があり、理事会で推薦状と業績集で選考した結果、大阪大学微生物病研究所 免疫不全疾患研究分野 村上良子氏 演題：「16 年間延べ 121 回にわたる反復性無菌性髄膜炎に PIGT 変異による PNH を合併し Eculizumab が著効した一例 その 2 分子メカニズム」の受賞が決定したことが報告された。

4) 平成 26 年度会計報告

若宮会長より事業報告書を基に報告がなされた。

4) 平成26年度会計報告（事務局）

○法人化により報告が必要な為、「貸借対照表」、「正味財産増減計算書」、「正味財産増減計算書内訳表」を作成。説明にあたり分かり易くするため、「平成26年度日本補体学会収支決算（事務局）」「平成26年度日本補体学会収支決算（受託業務）」を作成、こちらをもとに若宮会長より報告がなされた。

収入は繰越金、会費、利息を合わせ計3,743,206円。

支出は計2,065,638円。繰越残高は1,677,568円であることが説明された。

4) 平成26年度会計報告（受託業務）

収入は30,000,000円。

支出は計7,252,353円。繰越残高は27,821,881円であることが説明された。

未払金(△) 5,074,234円は6月30日迄のもので実際には業務は進み、支払いになる見込み。

5) 平成26年度会計監査報告

藤田禎三氏より監事として平成26年度の会計が適切に運営されたことを確認した書類の提示、報告がなされた。

6) 平成26年度運営一般状況

若宮先生より資料を基に会員数について

平成26年度は会員数143名、賛助会員5社と報告がなされた。

7) 平成27年度予算案について

○平成27年度予算案（事務局）について若宮会長より報告がなされた。

繰越金1,677,568円、年会費662,000円（一般会員121名×5000円、学生会員19名×3000円）、賛助会員年会費（5社）1,590,000円
総計3,929,568円の収入になる見込み。

支出は2,350,000円、繰越金は1,579,568円で予算案を立てている事を報告。

○平成27年度予算案（受託業務）について若宮会長より報告がなされた。

受託費27,821,881円（平成27年度5月の繰り越し）

共同研究費、委託費、租税公課など一部は決まっている内容を含む支出
40,173,911円

- 8) 補体検査システムの構築について進捗状況報告
セッション内で若宮会長より報告がなされた。
- 9) XXVI International Complement Workshop
第 53 回日本補体学会学術集会 (2016) について
学会といわれるものはなく、国際学会の中で時間を取り総会のみ
行われる事が集会長の藤田禎三氏より報告された。
HP は近日 Up 予定。特別講演はチカ・ノバー先生、日本からは審良先生
と長田先生が出て下さる事が決まっていることを報告。
- 1 0) 第 54 回日本補体学会学術集会 (2017) について
福島県立医科大学医学部免疫学教授 関根英治氏が第 54 回日本補体学
会学術集会の集会長を務めることが報告された。
- 1 1) その他
瀬谷司先生が 6 月 30 日付けで監事を退任されたことを報告。
細則を 2 名程度と変更した。しばらくは藤田氏に一人でがんばって頂く
ことが伝えられた。